



ふくおか【Good】農業人100

主な農産物／トルコギキョウ、ブプレウラム、輪ギク

大島 猛彦さん (38歳) (営農地／糸島市波多江)

営業マンからトルコギキョウ職人へ

《就農のきっかけ》

自分でつくったものを自分で売りたい!

就農する前は、建設関係の営業マンだった大島さん。誰からも好かれる性格で、業務成績はいつも優秀だったのですが「自分で作ったものを自分で売る仕事がしたい!」と農業に興味を持つようになりました。

インターネットで「普及指導センター」の存在を知り、相談すると、県農業大学校で1年間技術を習得できることが分かり、また、奥さんの実家が菊の栽培農家だったこともあり、花きコースを専攻。そこでは、多くの仲間と共に、花き栽培についてのノウハウを学びました。特にトルコギキョウを選んだ理由は、この花を作ったら、農業で生活していけると聞いて、どんな花なのか調べて決定しました。県農業大学校卒業後、農地も確保し、晴れてトルコギキョウ専作農家として栽培を開始しました。

《これまでの過程》

地域の仲間と家族に支えられて

実際に農業をはじめてみると、休みはないし、好きなゴルフはできないし、想像以上に大変。一日中汗だくになってハウスの中で作業をする毎日に、弱音を吐きそうになりました。しかし、ひたむきに栽培技術を学び、市場から「大島さんの作ったトルコギキョウが欲しい!」と言われ始めると、たちまちトルコギキョウ栽培に夢中になりました。困ったことがあれば、地元のベテラン農家や、地元のトルコギキョウ農家に素直に相談し乗り越えてきました。

また、農業を始めて、家族や親戚の有り難みも実感しました。「特に、妻には感謝しています。専業農家に生まれた妻は、農業の辛さを分かった上で、就農に反対せず、ついてきてくれたので誰よりも心強いパートナーです。」と語ってくれました。



プロフィール

■家族構成／本人、妻、子ども3人 ■前職／会社員(営業職)
■営農年数／約3年 ■従業員数／2名 ■耕作(経営)面積／29a
■販路／県内外の花市場

《これからの展望》

トルコギキョウでつながる人の輪

「トルコギキョウの栽培過程や豊かな糸島の自然環境を知ってもらいたい!」と始めたフェイスブックも好評で、花市場や花屋さん等の人脈も広がっています。「最近、フェイスブックでの注文や、花屋さんから直接注文をいただくことも増えました。」しかし、「個人名で注文がくると、やりがいを感じる反面、それ以上に責任も感じます。期待されると失敗できないから。」と個人経営の厳しさを感じています。

「将来の夢は、もっと、周りの人から、自分のトルコギキョウが認められるようになることです。」大島さんの、トルコギキョウ職人へ向けた、技術の探求は、まだまだ続きます。



Good 成功のためのポイント

農業を始めたい人に、言っておきたいことが2つあります。1つは、農業を始めてからの経営試算をしすぎるくらい、しっかりしておくこと。専業農家と新規就農者とは、資産力が違います。次に、就農に当たって、多くの人から支援を受けたいと思いますが、そればかりではいけません。就農後は、会社や出ごとに積極的に参加し、自分にできる範囲で地域に貢献することが重要だと思います。